

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	54,124千円	56,502千円	61,992千円	0千円
	総人件費	7,221千円	7,194千円	7,125千円	
	総事業コスト	61,345千円	63,696千円	69,117千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	15	文化行政に要する経費

事務事業名	01 芸術文化公演事業		指標名	入場率				指標種別	活動結果指標		指標の概要	各公演の定員に対する入場者数の平均			
	戦略プラン	3	2	文化芸術の振興	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
総合戦略	1	4	文化・芸術の振興	実績	69%	81.5%	65%					その他の指標	入場者数		
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針			H28年度				H29年度							
根拠法令等	文化芸術振興基本法 つくば市文化芸術振興基本条例			改善目標	業務を担う中で、集客については事業PRを相互にきめ細やか・広範に行うとともに、インターネット予約の普及を図り、販売促進のための特典制度などを実施し、入場率を向上させる。				改善目標	集客については事業PRを相互にきめ細やか・広範に行うとともに、インターネット予約を更に普及させ、入場率を昨年度以上に向上させる。					
事業分類	E 補助金・負担金事業			事業計画	平成28年度つくば市芸術文化事業 ・事業数…20事業 ・内訳…音楽：6公演、演劇・芸能：3公演、舞踊2公演、参加・体験型：7公演、美術：2企画 第32回つくば国際音楽祭 ・事業数…5事業				事業計画	平成29年度つくば市芸術文化事業 ・事業数…17事業 ・内訳…音楽：4公演、演劇・芸能：5公演、舞踊：1公演、参加・体験型：5公演、美術：2企画 ・開催時期：5月～3月まで つくば国際音楽祭 ・事業数：5事業 ・開催時期：5月、10月、11月、1月					
執行体制	一部委託			活動実績	平成28年度つくば市芸術文化事業 ・事業数…19事業 ・内訳…音楽：5公演、演劇・芸能：3公演、舞踊2公演、参加・体験型：7公演、美術：2企画 ・入場者合計…14,007人 第32回つくば国際音楽祭 ・事業数…5事業 ・入場者合計…2,387人 ノバホール開催：14事業…11,308人入場 つくばカピオ開催：7事業…1,958人入場 その他会場開催：3事業…3,128人入場				上半期活動実績						
事業の目的	市民が優れた文化芸術作品等に接する機会の拡充を図り、創造性豊かな潤いある街づくりを目指すため。市民の多種多様な文化芸術活動が活発に展開される環境を整備するうえで、活動を担う人材の育成を図るため。国際的に著名なアーティストを招聘し、クラシック音楽を中心とした公演を企画することで、優れた音楽公演に接する機会を提供するため。			成果	文化芸術の拠点施設であるノバホール・つくばカピオを主な会場とし、幅広いジャンルの作品を提供することができた。また、国際的に著名なアーティスト等による音楽公演を行い、芸術文化と国際の二面性を持つつくばらしさを浸透させた。さらに、チケットのインターネット予約販売を開始し、利便性の向上が図られた。				上半期成果						
事業の概要	つくば文化振興財団と協定を締結し、共同主催という形式により市内の文化施設等を利用し、音楽・演劇・芸能・美術等の幅広いジャンルの芸術文化事業を実施する。国際音楽祭事業については、芸術性の高いクラシック公演に身近に触れてもらうため、国内有数の音響効果を持つノバホールを会場として、良質なプログラムを厳選して開催する。			課題	公演・プログラムの選定にあたっては、限られた予算の中で多様な質の高い公演の紹介をしなければならない。また、広報力を上げ情報を周知し、集客の向上を図る必要がある。				課題						
ISO 14001	H28 環境関連性	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	理由		
	H29 環境関連性	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-				H30年度の方向性	理由
					効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	54,124千円	56,502千円	61,992千円	0千円
	総人件費	7,221千円	7,194千円	7,125千円	
	総事業コスト	61,345千円	63,696千円	69,117千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	15	文化行政に要する経費

事務事業名	02 文化団体等育成支援事業	指標名	加盟団体数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	文化協会の加盟団体数				
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	80団体		80団体	80団体	80団体	80団体	80団体
総合戦略	- - - -	実績	64団体	60団体	51団体											
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針	H28年度				H29年度				改善目標	H28年度					
		文化協会では、平成27年度に支部を廃止し、地域でなく活動分野ごとの組織への改編が実施された。組織改編による混乱が生じないよう、文化協会への指導・助言等を行い、年度内に運営を軌道に乗せる。				文化協会では、活動部門ごとの組織への改編が実施され2年が経過したが、引き続き文化協会への指導や助言等を行っていく。また、入会促進を図り会員数を増加させる。					加盟人数					
根拠法令等	つくば市補助金交付適正化規則 つくば市文化協会補助金交付要綱	事業計画	・つくば市文化協会への補助金交付 ・文化協会本部の芸術展・芸能祭 ・部門ごとの芸術展・芸能祭の実施				事業計画	・つくば市文化協会への補助金交付 ・文化協会本部の芸術展、芸能祭の実施 ・部門ごとの芸術展、芸能祭の実施 ・入会促進を図るため広報の実施				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	・つくば市文化協会へ事業費補助金として900,000円を交付した。 ・専門部ごとに部門を結成し、活動が行われ団体間の交流が活発に行われた。 ・7月に七夕コンサート、10月に芸能祭及びハワイアン&フラフェスティバル、2月に芸能・芸術展、3月に芸術展を開催した。 ・庁舎内で文化団体の作品展示を1ヶ月ごとに実施した。 平成28年度つくば市文化協会加盟者数：538人				上半期活動実績	-				事業費(A)	595千円	900千円	900千円	0千円
執行体制	補助金(直接)	成果	文化協会の組織再編がされ、文化団体間の交流が活発に行われたほか、文化協会主催事業をとおして市民との交流も促され、文化活動の活性化につながった。また、加入団体の運営事務負担を軽減することができた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	つくば市内文化団体の育成・支援を図り、各団体の文化活動を活性化させるため。	課題	文化協会では、昨年より支部単位から活動部門ごとの組織への改編が実施されたが、会員等が戸惑わないよう、指導・助言等を行っていく必要がある。また、会員の減少や高齢化が進んでいるため、入会を促進するための工夫が必要である				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	市民の文化活動の活性化を目指し、つくば市文化協会に対する事業費補助として補助金を交付し、主体的な活動を促進するよう支援する。	評価	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28 環境関連性	事業の進捗状況	達成	-			事業の進捗状況	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29 環境関連性	改善目標の進捗状況	達成	-			改善目標の進捗状況	-			一般財源	595千円	900千円	900千円	0千円	
		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			人件費(B)	743千円	733千円	733千円		
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			正職員	従事割合	0.10人	0.10人	0.10人	
											時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
											臨時職員等	無	無	無		
											事業コスト(A+B)	1,338千円	1,633千円	1,633千円		
											H30年度当初積算根拠	-				
											H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	54,124千円	56,502千円	61,992千円	0千円
	総人件費	7,221千円	7,194千円	7,125千円	
	総事業コスト	61,345千円	63,696千円	69,117千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	15	文化行政に要する経費

事務事業名	03 (公財)つくば文化振興財団支援事業				指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-			
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略	-	-	-	-	実績	-	-	-	-										
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針				改善目標	H28年度 専門職員を育成するための支援を図る。				H29年度 専門職員を育成するための支援を図る。									
根拠法令等	公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律等				事業計画	・(公財)つくば文化振興財団への補助金交付 つくば国際音楽祭事業 つくば市芸術文化事業(鑑賞型) つくば市芸術文化事業(参加型) 美術展事業 絵画制作表彰事業 文化芸術活動支援事業 インターネット チケット予約システム導入				・(公財)つくば文化振興財団への補助金交付 つくば国際音楽祭事業 つくば市芸術文化事業(鑑賞型) つくば市芸術文化事業(参加型) 美術展事業 絵画制作表彰事業 文化芸術活動支援事業 インターネット・チケット予約システム									
事業分類	E 補助金・負担金事業				活動実績	公益財団法人つくば文化振興財団への運営補助金として10,000,000円を交付するとともに、市職員の派遣を行った。				上半期活動実績									
執行体制	補助金(直接)				成果	公益財団法人であることから、収益事業などに様々な制限がある中で、財団の運営は行われている。そのような状況の中で、財団による自助努力が芽生えてきており、創意工夫のもとに事業運営が図られている。				上半期成果									
事業の目的	多彩な事業を担う公益財団法人つくば文化振興財団に対し財政的支援を行うことで健全経営を図り、芸術文化振興事業を通し市民の豊かで魅力ある都市生活の向上に寄与するため。				課題	公益財団法人として、文化芸術の振興及び文化施設の管理に特化した組織として、今後は専門性を有し、安定した財政運営を目指していくための強い組織力が求められる。				課題									
事業の概要	公益財団法人つくば文化振興財団への指導・助言のほか、財政的支援として行政補完型運営補助金の交付や市職員の派遣等を行う。				事業の進捗状況	達成	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-						
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-								
	H29環境関連性	-	-	-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-								
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-									
													事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
													事業費(A)	10,000千円	10,000千円	10,000千円	0千円		
													国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
													県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
													その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
													一般財源	10,000千円	10,000千円	10,000千円	0千円		
													人件費(B)	1,486千円	1,466千円	1,466千円			
													正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人		
													内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
													臨時職員等	無	無	無			
													事業コスト(A+B)	11,486千円	11,466千円	11,466千円			
													H30年度当初積算根拠	-					
													H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	9,199千円	9,657千円	11,310千円	0千円
	総人件費	6,878千円	6,603千円	6,603千円	
	総事業コスト	16,077千円	16,260千円	17,913千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	21	市民文化祭開催に要する経費

事務事業名	01	つくば市民文化祭開催事業	指標名	来場者数	指標種別	活動結果指標	指標の概要	市内7会場(筑波,大穂,谷田部,豊里,桜,荳崎,中央)の来場者数										
戦略プラン	3	2	文化芸術の振興	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
					25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人	25,000人							
総合戦略	1	4	文化・芸術の振興	実績	23,941人	24,117人	27,780人											
	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	参加者数,参加団体数					
個別計画	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針			改善目標	平成27年度に引き続き,単に作品展示を行なうのではなく,体験教室や子供たちの作品を展示し集客につなげる。				改善目標	引き続き,体験教室や子ども達の作品を展示し,集客につなげていく。参加団体への助成金について上限額の引き上げを検討する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
根拠法令等	文化芸術振興基本法 つくば市文化芸術振興基本条例			事業計画	・開催日は,11月5,6日(荳崎は1日から) ・会場は,筑波・大穂・豊里・谷田部・桜・荳崎・中央の7会場で行う。 ・市民文化祭実行委員会の開催(5月・10月・3月) ・各会場催事委員会の開催(各会場ごと)				事業計画	・開催日は,11月4日,5日(荳崎は10月31日から) ・会場は,筑波・大穂・豊里・谷田部・桜・荳崎・中央の7会場で行う。 ・市民文化祭実行委員会の開催(5月・9月・2月) ・各会場催事委員会の開催(各会場ごと)				事業費(A)	9,199千円	9,657千円	11,310千円	0千円
事業分類	A 任意的事業			活動実績	市内7会場(筑波,大穂,豊里,桜,荳崎,中央)で開催し,市民による芸能発表と展示発表を実施した。ただし,桜会場は展示発表のみ。 ・開催日:11月5,6日(荳崎は1日から) ・参加団体数:358団体 ・参加者数:4,837人 ・来場者数:27,780人				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	一部委託			成果	市民が文化芸術を身近に接することにより,興味や関心を育むきっかけとなり,市全体の文化意識の高揚につながった。また,体験教室や子ども達の作品展示を行い,アンケートでも高評価を得ることができた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	文化芸術活動の成果を発表する場を提供することで意欲の向上を促進させるとともに,それら文化芸術作品に身近に触れる機会を提供することで市民の文化芸術意識の高揚を図るため。			課題	希望の多い体験教室や子ども向けの企画を増やす等,多くの方に来場していただけるよう工夫する必要がある。また,参加団体助成金の上限をあげてほしいとの意見がある。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	市内各地区の地域交流センター・体育館・市民ホール等を会場として,参加団体及び個人の作品展示やステージ発表のほか,音楽会,小中学校芸術展などを実施する。			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		一般財源	9,199千円	9,657千円	11,310千円	0千円		
	H29環境関連性	-	-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		人件費(B)	6,878千円	6,603千円	6,603千円			
				評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-		正職員	0.80人	0.80人	0.80人			
												従事割合	350.00時間	280.00時間	280.00時間			
												時間外勤務	無	無	無			
												臨時職員等	無	無	無			
												事業コスト(A+B)	16,077千円	16,260千円	17,913千円			
												H30年度当初積算根拠						
												H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	4,178千円	4,864千円	692千円	0千円
	総人件費	2,737千円	2,675千円	2,437千円	
	総事業コスト	6,915千円	7,539千円	3,129千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	22	メディア芸術振興に要する経費

事務事業名		01 メディア芸術振興事業		指標名	入場者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	メディアアートフェスティバル、ショートムービーコンペティション両事業来場者数の合計				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
総合戦略		1 4 文化・芸術の振興		実績	2,315人	2,162人	2,538人												
個別計画		つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針		H28年度				H29年度				その他の指標	ショートムービー作品応募数						
根拠法令等		文化芸術振興基本法 つくば市文化芸術振興基本条例		改善目標	・メディアアートの作品展示については、筑波大学と連携し開催できるようネットワークを広げる。 ・つくッペについては、高校等、市内での広報に力を入れ、地域に根ざした催事へ発展させると同時につくば部門への応募数を増やす。				改善目標	つくばショートムービーコンペティションについて、高校など市内での広報に力を入れ、地域に根ざした催事へ発展させると同時に、つくば部門への応募数を増加させる。									
事業分類		A 任意的事業		事業計画	・メディアアートフェスティバル：11月26日～12月4日 ・つくばショートムービーコンペティション：3月上旬(予定)				事業計画	・メディアアートフェスティバル：平成30年度開催に向けて筑波大学等との打合せ ・つくばショートムービーコンペティション：実行委員会の開催(8月・1月・2月・4月) 上映会及び審査会：2月24日(土)開催予定				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
執行体制		職員のみ		活動実績	・メディアアートフェスティバル：筑波大学と連携し、11月24日から12月4日までつくば美術館において実施した。作品は14作品を展示した。 ・つくばショートムービーコンペティション「つくッペ」：筑波学院大学等と連携し、3月5日つくばイノベーションプラザにおいて実施した。応募総数94作品(内つくば部門10作品)				上半期活動実績	-				事業費(A)	4,178千円	4,864千円	692千円	0千円	
事業の目的		最先端の科学技術を駆使した、新たなアートの世界(メディア芸術)を紹介し、科学技術に対する親近感の醸成、新しい芸術表現の可能性を体感・創造し、つくばらしい文化芸術の振興に寄与していくため。		成果	メディアアートフェスティバルについて、昨年以上の来場者があり、一定の成果を収めた。なお、今後は作品数確保のため隔年で開催する。ショートムービーコンペティションについては、作品の応募総数が94作品と増加し、市民審査員参加者も多く市民に定着してきた。また、グランプリ作品が、姉妹都市仏・グルノーブル市の屋外短編映画祭へ招待され上映された。				上半期成果	-				国庫支出金	4,178千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要		市内大学、研究機関等と連携し、2事業を実施する。 ・つくばメディアアートフェスティバル：メディア芸術作品を市民に周知する一環としてつくば美術館にて作品の展示会を行う。 ・つくばショートムービーコンペティション「つくッペ」：10分以内の映像作品を募集し、コンテストを実施する。		課題	つくばショートムービーコンペティションは、広報等に力を入れ、作品の応募数を増加させる。また、上映会及び審査会の会場について再考する。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
					効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-		一般財源	0千円	4,864千円	692千円	0千円	0千円		
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		人件費(B)	2,737千円	2,675千円	2,437千円				
												正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人			
												時間外勤務	190.00時間	180.00時間	90.00時間				
												臨時職員等	無	無	無				
												事業コスト(A+B)	6,915千円	7,539千円	3,129千円				
												H30年度当初積算根拠							
												H30年度の方向性							
												理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	105,370千円	86,317千円	89,361千円	0千円
	総人件費	3,795千円	3,743千円	3,743千円	
	総事業コスト	109,165千円	90,060千円	93,104千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	13	11	ノバホール維持管理に要する経費

事務事業名	01	ノバホール管理運営事業(指定管理者制度)	指標名	施設稼働率(ホール)				指標種別	活動結果指標			指標の概要	ホールの開館日数に対する利用日数の割合					
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-	-	-	-	75%	80%	80%	80%	80%	80%	80%							
総合戦略	-	-	-	-	実績	86%	83%	79%				その他の指標	施設利用回数					
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度									
					改善目標	指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理運営状況を詳細に把握する。施設の不具合など緊急を要する事態の場合には、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応する。				改善目標	指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理運営状況を詳細に把握する。施設の不具合など緊急を要する事態の場合には、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応する。							
事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初														
事業費(A)	105,370千円	86,317千円	89,361千円	0千円														
内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円														
	県支出金	0千円	0千円	0千円														
	地方債	0千円	0千円	0千円														
	その他特財	41千円	41千円	41千円														
	一般財源	105,329千円	86,276千円	89,320千円														
人件費(B)	3,795千円	3,743千円	3,743千円															
内訳	正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人													
	時間外勤務	30.00時間	30.00時間	30.00時間														
	臨時職員等	無	無	無														
事業コスト(A+B)	109,165千円	90,060千円	93,104千円															
事業の概要	H28年度				H29年度				H30年度当初積算根拠									
	H28年度				H29年度				H30年度当初積算根拠									
事業の目的	つくば市における芸術文化振興の中核施設であるノバホールの施設管理及び貸館業務において、指定管理者制度を導入することで適正な運営を図るとともに、継続的に施設整備(修繕)を行うことにより、施設の機能維持をはじめ、利用者の利便性向上と安全の確保を図るため。				平成28年度は、施設貸出しの実績や維持管理について、例年通りの実績を残すとともに、自主事業として10月にノバホールフェスタ、2月にピアノ無料試弾会を実施した。施設の修繕については、調光器盤内関数発生器交換修繕、音響機器修繕、ピアノキャスター交換修繕等を実施した。				-									
	ノバホールは、公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者が自ら行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)の範疇を超える修繕については、市が直接工事発注し修繕を行う。				指定管理者と定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することができた。また、施設の不具合など緊急を要する場合には随時連絡を取り合い、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応した。				-									
事業の課題	開館から30年が経過した施設のため、根幹設備(機械・照明・音響等)の経年劣化に伴う不具合が頻発している。中長期的な修繕計画を策定するとともに、国の補助事業を取り入れるなど財源確保の方法も探っていく必要がある。				-				-									
	-				-				-									
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況				達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-		
	H29環境関連性	-	-	-	有効性				中:適切な成果が得られている	有効性				-	H30年度の方向性		-	理由
				効率性				中:適切な費用対効果が得られている	効率性				-					
				総合評価				B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	総合評価				-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	249,513千円	251,892千円	278,136千円	0千円
	総人件費	3,795千円	3,743千円	3,743千円	
	総事業コスト	253,308千円	255,635千円	281,879千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	文化振興係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	14	11	つくばカピオ維持管理に要する経費

事務事業名	01	つくばカピオ管理運営事業(指定管理者制度)	指標名	施設稼働率				指標種別	活動結果指標			指標の概要	施設の開館日数に対する利用日数の割合											
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度														
戦略プラン	-	-	-	92%	92%	93%	93%	93%	93%	93%														
総合戦略	-	-	-	実績	92%	93%	91%				その他の指標	施設利用回数												
個別計画	-	-	-	H28年度				H29年度				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初								
				改善目標	指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理運営状況の詳細に把握する。施設の不具合など緊急を要する事態の場合には、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応する。				改善目標	指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することで、管理運営状況の詳細に把握する。施設の不具合など緊急を要する事態の場合には、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応する。														
根拠法令等	つくば市文化芸術の振興に関する基本的な方針			事業計画	・月例報告会(毎月実施) ・年次報告会(年1回5月実施) ・月曜開館の実施				事業計画	・月例報告会(毎月実施) ・年次報告会(年1回5月実施) ・監視カメラ及び放送設備改修工事 ・指定管理者制度選定作業準備(平成30年4月から5年間)				事業費(A)	249,513千円	251,892千円	278,136千円	0千円						
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	平成28年度は、施設貸出しの実績や維持管理について、例年どおりの実績を残すとともに、3月には自主事業としてホール舞台裏を紹介する事業を実施した。施設の修繕については、消防用設備修繕工事、加圧給水ユニット修繕工事、移動式バスケットゴール修繕等を実施した。				上半期活動実績					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円					
執行体制	指定管理者			成果		指定管理者との定期的な報告や意見交換を実施し、利用者のニーズや管理上の問題点などの情報を共有することができた。また、施設の不具合など緊急を要する事態の場合には、最善策をとれるよう両者で協議のうえ迅速に対応した。また、月曜開館をスタートし、利便性の向上を図った。					上半期成果					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円				
事業の目的	文化・スポーツ活動等の中核施設であるつくばカピオの施設管理及び貸館業務において、指定管理者制度を導入することで適正な運営を図るとともに、継続的に施設整備(修繕)を行うことにより、施設の機能維持をはじめ、利用者の利便性向上と安全の確保を図るため。				課題	開館から20年以上が経過している施設のため、根幹施設(機械・照明・音響等)の経年劣化に伴う不具合が頻発している。中長期的な修繕計画を策定するとともに、国の補助事業を取り入れるなど財源確保の方法も探っていく必要がある。				課題						地方債	0千円	0千円	18,200千円	0千円				
	事業の概要	つくばカピオは、公益財団法人つくば文化振興財団を指定管理者として、施設管理業務及び貸館業務を行っている。指定管理者の裁量において自らが行う簡易的な修繕(税込10万円以下の小規模な修繕)の範疇を超えるものについては、市が直接工事発注し修繕を行う。				事業の進捗状況					達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況				改善目標の進捗状況	達成	その他特財	2,033千円	2,183千円	651千円	0千円
ISO 14001		H28環境関連性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			一般財源	247,480千円	249,709千円	259,285千円	0千円	人件費(B)	3,795千円	3,743千円	3,743千円	
	H29環境関連性	-	-	評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			評価	効率性	-			正職員	0.50人	0.50人	0.50人		従事割合	0.50人	0.50人	0.50人		
													臨時職員等	無	無	無		時間外勤務	30.00時間	30.00時間	30.00時間			
													事業コスト(A+B)	253,308千円	255,635千円	281,879千円		H30年度当初積算根拠						
													総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	208,618千円	217,804千円	249,476千円	0千円
	総人件費	12,081千円	12,801千円	11,576千円	
	総事業コスト	220,699千円	230,605千円	261,052千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	15	11	地域交流センター維持管理に要する経費

事務事業名	01 地域交流センター維持管理事業	指標名	地域交流センター利用人数				指標種別	成果指標	指標の概要	市内17か所の地域交流センター利用者数											
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度							H32年度						
		実績	470,000人	470,000人	470,000人	470,000人	470,000人	470,000人							470,000人						
総合戦略	- - - -		472,646人	472,858人	454,993人																
個別計画	地域交流センター-基本計画	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-									
根拠法令等	地域交流センター-条例	事業計画	耐震補強が完了していない施設が2施設あるため、計画的に耐震化を進める。また、施設運営委員会において、前年度の実績に基づき、地域交流センターの運営内容の検証を行う。				耐震補強が完了していない2施設の耐震化を進める。定期的に開催する各会議等において、地域交流センターの運営内容の検証を行う。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初						
事業分類	F 施設等維持管理事業	活動実績	4月 大穂交流センター空調設備改修工事発注 吾妻交流センター防火設備改修工事発注 吉沼、栗原交流センターの耐震補強設計委託を行い、全交流センターの耐震化に向けた準備を進める。施設運営委員会、所長会議、担当者会議、専門部会を通じて地域交流センターの課題解決を図る。				4月吉沼交流センター耐震補強工事発注 栗原交流センター耐震補強工事設計業務発注 施設運営委員会、所長会議、担当者会議、専門部会等を定期的に開催し、課題の解決を図る。				事業費(A)	208,618千円	217,804千円	249,476千円	0千円						
執行体制	一部委託	成果	7月 大穂交流センター空調設備改修工事契約締結 8月 吉沼交流センター耐震補強工事設計業務委託契約締結 11月 大穂交流センター空調設備改修工事完了 12月 吉沼交流センター耐震補強工事設計業務完了 施設運営委員会、所長会議、担当者会議、専門部会を定期的に開催し、地域交流センターの運営内容の検証を行った。				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	1,242千円	13,079千円	0千円						
事業の目的	市民の自主的な活動の促進を図り、もって豊かで活力ある地域社会の形成に資するため。	課題	吉沼交流センターの耐震補強工事の設計が完了し、工事に向けての準備を進めた。 各施設の修繕や公共施設予約システムの改修、業務手順の見直し等を行ったことで、快適な利用環境を提供することができた。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円						
事業の概要	地域交流センター利用者が常に快適に利用できる環境を整えておく必要があるため、清掃委託をはじめ各種の契約行為等を実施する。また、利用者が常に使いやすい環境を整えておくため老朽箇所等の修繕工事等を行う。	評価	老朽化が進行している施設の計画的な修繕が必要。また、地域交流センターの設置目的の達成のための新たな取り組みや事業の見直しが必要。				課題				地方債	0千円	12,900千円	0千円	0千円						
ISO 14001	H28環境関連性	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況				その他特財	24,931千円	24,145千円	25,086千円	0千円							
	H29環境関連性	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性				一般財源	183,687千円	179,517千円	211,311千円	0千円						
		効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性				人件費(B)	12,081千円	12,801千円	11,576千円							
		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				正職員	1.58人	1.58人	1.58人							
											時間外勤務	128.75時間	462.00時間	0.00時間							
											臨時職員等	無	有	有							
											事業コスト(A+B)	220,699千円	230,605千円	261,052千円							
											H30年度当初積算根拠	-									
											H30年度の方向性	-	理由	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	5,165千円	5,532千円	6,693千円	0千円
	総人件費	539千円	606千円	587千円	
	総事業コスト	5,704千円	6,138千円	7,280千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	15	12	地域交流センター行事に要する経費

事務事業名	01	地域交流センター主催行事	指標名	講座延受講者数				指標種別	成果指標	指標の概要	年間の延受講者数	
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	
			目標値		12,350名	12,350名	12,350名	12,350名	12,350名	12,350名	12,350名	
			実績		10,158名	9,445名	9,339名					
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度			
			改善目標	地域交流センター担当職員からなる講座専門部会を定期的に開催し、講座の周知方法、土日祝日・夜間開講の講座、講座のメニューについて更なる見直しを図る。				改善目標 講座の周知方法、土日祝日・夜間開講の講座、講座のメニューについて更なる見直しを図り、受講者の増加を目指す。				
個別計画	地域交流センタ-基本計画		事業計画	5月 前期講座募集 6月～8月 前期講座実施 9月 後期講座募集 10月～12月 後期講座実施				5月前期講座募集 6月～8月前期講座実施 9月後期講座募集 10～12月後期講座実施				
根拠法令等	地域交流センタ-条例		活動実績	5月前期講座募集、6月～8月前期講座実施、9月後期講座募集、10～12月後期講座実施 全177講座を実施。一般向けが132講座、小中学生向けが10講座、高齢者向けが9講座、親子向けが26講座となった。また、夜間に15講座、土日祝日に41講座実施した。				上半期活動実績 -				
事業分類	A 任意的事業		成果	平日昼間の講座参加が難しい方にも対応し、夜間及び土日祝日開講の講座を昨年度より多く開催したことにより、参加者に好評を得た。				上半期成果 -				
執行体制	職員のみ		課題	講座数は増加しているが、受講者数は減少している。				課題 -				
事業の目的	地域交流センターの自主的な事業として、前期、後期の講座を実施することにより、市民に学習機会を提供し、生涯学習社会の実現に寄与するため。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
事業の概要	各交流センターにおいて、前期と後期に分けて市民ニーズに応じた講座等を企画し、参加募集を行う。応募者多数の場合は抽選の上、受講者を決定して講座を実施する。		有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-			
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-			
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
ISO 14001	H28環境関連性	-										
	H29環境関連性	-										
	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初							
	事業費(A)	5,165千円	5,532千円	6,693千円	0千円							
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円							
	県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円							
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円							
	その他特財	2,312千円	2,321千円	3,012千円	0千円							
	一般財源	2,853千円	3,211千円	3,681千円	0千円							
	人件費(B)	539千円	606千円	587千円								
	正職員	従事割合	0.07人	0.08人	0.08人							
	内訳	時間外勤務	7.00時間	7.00時間	0.00時間							
		臨時職員等	無	有	有							
	事業コスト(A+B)	5,704千円	6,138千円	7,280千円								
	H30年度当初積算根拠											
	H30年度の方向性	-	理由	-								

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	132,042千円	209,919千円	99,306千円	0千円
	総人件費	4,594千円	4,483千円	4,469千円	
	総事業コスト	136,636千円	214,402千円	103,775千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	16	11	市民ホール管理に要する経費

事務事業名		01 市民ホール管理事業		指標名	施設利用人数				指標種別	成果指標		指標の概要	市内4か所(つくばね,とよさと,やたべ,くぎざき)の市民ホール利用者数				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
実績		-			70,000人	80,000人	90,000人	90,000人	90,000人	90,000人	90,000人						
総合戦略		- - - -		実績	104,814人	123,014人	117,312人					その他の指標	-				
個別計画		-		H28年度				H29年度									
根拠法令等		つくば市市民ホ-ル条例		改善目標	市民ホールくぎざきの設備等を計画的かつ集中的に修繕して,利用者の利便性を向上させることにより,市民ホール全体の利用者数の増加を図る。				改善目標	中長期的な計画に基づき,老朽化している施設及び設備について,優先順位や必要性に応じた修繕をすすめ,安心・安全な利用環境を維持する。							
事業分類		F 施設等維持管理事業		事業計画	平成28年11月 市民ホールくぎざき舞台音響設備全体改修工事契約締結 市民ホールくぎざき舞台吊物設備改修工事契約締結 楽屋空調機器更新工事契約締結 その他,必要に応じて随時4施設の修繕等を実施。				事業計画	必要に応じて各市民ホールの修繕を実施する。市民ホールやたべにおいては,障害者用トイレの改修のための設計を行う。							
執行体制		一部委託		活動実績	8月 市民ホールくぎざき舞台吊物設備改修工事契約締結 9月 市民ホールくぎざき舞台音響設備全体改修工事,楽屋空調機器更新工事契約締結 市民ホールくぎざきを1月～3月まで休館にし,大規模な修繕を行った。併せて小規模な修繕も集中的に実施した。				上半期活動実績	-							
事業の目的		市民の文化の振興及び教養の向上を図り,もって福祉の増進に資するため。		成果	市民ホールくぎざきの舞台設備等の修繕が滞りなく完了したことにより,平成29年4月からの貸し出しが可能になった。				上半期成果	-							
事業の概要		利用者が常に快適な環境で市民ホールを利用できるように,清掃・維持管理業務など各種業務を実施し,快適な市民サービスを提供するとともに,老朽化に伴う不具合などが発生した場合は早期修繕に努め,安心・安全な利用環境を維持する。		課題	他の市民ホールの各種設備についても老朽化が進行しているため,中長期的な計画による修繕が課題になっている。				課題	-							
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-				
		H29環境関連性		評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-								
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-								
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				H30年度の方向性	-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	10,951千円	10,954千円	12,174千円	0千円
	総人件費	478千円	476千円	440千円	
	総事業コスト	11,429千円	11,430千円	12,614千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	11	社会教育振興に要する経費

事務事業名		01 社会教育振興事業		指標名	環境美化コンクール参加団体				指標種別	成果指標		指標の概要	大好きいばらき県民会議主催の花と緑の環境美化コンクール参加団体数				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略		- - - -		実績	9団体	10団体	11団体	11団体	12団体	13団体	14団体						
個別計画		-		実績	8団体	9団体	10団体					その他の指標	-				
根拠法令等		社会教育法 つくば市社会教育委員条例		H28年度				H29年度									
事業分類		A 任意的事業		改善目標	花苗や肥料購入費の助成に関する予算の増額や活動に関する周知活動を強化することにより、参加団体の増加を図る。				改善目標	環境美化コンクールの周知方法を強化することより、参加団体の増加を図る。							
執行体制		職員のみ		事業計画	6月 環境美化コンクール参加団体の募集 8月 第1回社会教育委員会議開催 3月 第2回社会教育委員会議開催				事業計画	6月 環境美化コンクール参加団体の募集 ウェルカムフラワーの参加団体を対象にした周知活動の実施 7月 花壇審査。県民会議への推薦。 8月 第1回社会教育委員会議開催 3月 第2回社会教育委員会議開催							
事業の目的		社会教育委員会議の開催や社会教育主事の配置を通じて、つくば市における社会教育の振興を図るため。		活動実績	4月 市民部文化振興課に茨城県教育委員会からの派遣社会教育主事1名を配置 6月 環境美化参加団体を募集 7月 審査の上、市から5団体を県民会議に推薦 8月 第1回社会教育委員会議を開催 9月 市から推薦した団体のうち2団体が受賞決定 11月 表彰 3月 第2回社会教育委員会議を開催				上半期活動実績	-							
事業の概要		社会教育委員の助言や指導を元に市の社会教育施策を実施し、環境美化コンクールの実施や社会教育主事の配置を通じて、市の社会教育行政の充実化を図る。		成果	専門的知見を有する社会教育主事及び社会教育委員会委員の意見を取り入れながら、社会教育行政を推進することができた。また、環境美化コンクールにおいては、つくば市から推薦した2団体が受賞し、市民の関心を高めることができた。				上半期成果	-							
ISO 14001		H28 環境関連性 - H29 環境関連性 -		課題	環境美化コンクールへの参加団体の減少が懸念される。				課題	-							
				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-				
				評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-							
				評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-							
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							
				H30年度の方向性		理由		-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	4,048千円	3,343千円	3,618千円	0千円
	総人件費	223千円	232千円	220千円	
	総事業コスト	4,271千円	3,575千円	3,838千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	12	地域改善対策に要する経費

事務事業名	01	地域改善地区集会所維持管理事業	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-								
戦略プラン	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略	-	-	実績	-	-	-	-									
個別計画	-	-	改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
根拠法令等	高須賀地区集会所条例		事業計画	平成28年度中に、高須賀地区集会所2階の窓枠改修を行う。 法定点検の適切な実施。 年3回(5月, 9月, 1月)浄化槽点検 年2回(10月, 3月)消防設備点検				6～7月 高須賀地区集会所2階サッシュ窓修繕 法定点検の適切な実施。 年3回(5月, 9月, 1月)浄化槽点検 年2回(10月, 3月)消防設備点検				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	F 施設等維持管理事業		活動実績	高須賀地区集会所2階の窓枠改修を行う予定であったが、年度当初に空調設備に不具合が発生したため、緊急により4～5月に修繕を行った。 浄化槽点検 年3回(5月, 9月, 1月)実施 消防設備点検 年2回(10月, 3月)実施				上半期活動実績				事業費(A)	4,048千円	3,343千円	3,618千円	0千円
執行体制	一部委託		成果	高須賀地区集会所を適正に管理することができた。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	地域改善対策集会所整備費補助金により整備された高須賀地区集会所の適正な維持管理を図り、地域の交流の場として提供するため。		課題	-				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	集会所の維持管理、施設の貸出などを委託し、集会所を地域交流の場として適切に運用する。		評価	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-			地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			事業の進捗状況	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
	H29環境関連性	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			一般財源	4,048千円	3,343千円	3,618千円	0千円
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			人件費(B)	223千円	232千円	220千円	
											正職員	従事割合	0.03人	0.03人	0.03人	
											時間外勤務	0.00時間	4.50時間	0.00時間		
											臨時職員等	無	無	無		
											事業コスト(A+B)	4,271千円	3,575千円	3,838千円		
											H30年度当初積算根拠	-				
											H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	24,675千円	24,751千円	26,221千円	0千円
	総人件費	5,428千円	5,354千円	3,597千円	
	総事業コスト	30,103千円	30,105千円	29,818千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	13	家庭教育支援に要する経費

事務事業名		01 家庭教育学級支援事業		指標名	家庭教育学級参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	家庭教育学級参加者数						
戦略プラン	2 4 教育現場の支援体制整備			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度							H32年度	
	-			実績	20,500人	20,500人	20,500人	20,500人	20,500人	20,500人	20,500人							
総合戦略	-			実績	H28年度				H29年度				その他の指標	-				
	-				改善目標	様々な社会問題を必要課題としての確に指導できるよう、社会教育指導員のさらなる資質向上を図っていくための研修を行う。				改善目標								
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画			事業計画	家庭教育学級の開設。学級の枠を超えた学習機会の提供として講演会を年3回開催。社会教育指導員を文化芸術課に2人、各地域交流センターに14人を配置し、社会教育及び家庭教育の推進を図る。				家庭教育学級の開設。学級の枠を超えた学習機会として講演会を年3回開催。 第1回 7月12日 第2回 10月1日 第3回 11月21日 社会教育指導員を文化芸術課に2人、各地域交流センターに14人を配置し、家庭教育の充実に努める。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等	社会教育法 社会教育指導員設置規則				活動実績	家庭教育学級(78学級、学級生数12006人)を開設。参加者数23,571人 家庭教育講演会の開催(全3回、参加者数405人)16人の社会教育指導員により、家庭教育学級の運営に際し助言・指導を行った。家庭教育セミナーの実施。幼稚園10(225名)小学校37(2215名)中学校11(1601名)参加				上半期活動実績				事業費(A)	24,675千円	24,751千円	26,221千円	0千円
事業分類	A 任意的事業			成果		参加者が自ら学級運営に参加し、活動を通じて仲間づくりや家庭での課題等を話し合ったり、講師を招いての講演会・学習会を通じて家庭での教育が原点であることを再確認できた。社会教育指導員の助言・指導により、家庭教育学級の円滑な運営が行われた。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ				課題	家庭教育学級の事業内容に、趣味のものが偏りがちである。また、開催日についても、働いている保護者が参加しやすくなるよう改善する。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	家庭の教育力の向上を図り、子どもの健全な育成に役立てるため。社会教育の特定分野における直接指導、学習相談、又は社会教育団体の育成を通じて、社会教育を推進するため。			評価		事業の進捗状況				事業の進捗状況				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	家庭教育学級を開催する。学級の運営にあたり社会教育指導員が指導・助言を行い、講演会や学習会を開催する。非常勤の嘱託員16人を文化芸術課及び交流センターに配属し、社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育関係団体の育成等にあたる。				評価	達成				達成				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
	H28環境関連性			評価		有効性				有効性				一般財源	24,675千円	24,751千円	26,221千円	0千円
	H29環境関連性				評価	中：適切な成果が得られている				中：適切な費用対効果が得られている				人件費(B)	5,428千円	5,354千円	3,597千円	
				評価		総合評価				総合評価				正職員	従事割合	0.72人	0.72人	0.48人
					評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				時間外勤務	29.50時間	29.50時間	30.00時間	
				評価										臨時職員等	無	無	無	
					評価									事業コスト(A+B)	30,103千円	30,105千円	29,818千円	
				評価										H30年度当初積算根拠	-			
					評価									H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	3,397千円	398千円	734千円	0千円
	総人件費	7,190千円	6,990千円	4,649千円	
	総事業コスト	10,587千円	7,388千円	5,383千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名		01 生涯学習審議会開催事業		指標名	生涯学習審議会開催回数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	審議会の開催数				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略		- - - -		実績	4回	5回	4回	2回	4回	4回	4回						
個別計画		-		改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
根拠法令等		つくば市生涯学習審議会条例		改善目標	委員数が多く、意見を反映するのが難しいため委員の定数の見直しを図る。				改善目標 地域交流センター講座実績報告書の作成見直しや、事業の進行管理調査票の改善をする。								
事業分類		B 任意的事業(小規模)		事業計画	生涯学習審議会 開催回数4回 審議会委員視察研修				生涯学習審議会 開催回数2回				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
執行体制		職員のみ		活動実績	生涯学習審議会(全2回) 第1回 8月19日 第2回 3月27日 審議内容 生涯学習基本計画の進捗状況について、地域交流センター基本計画について、地域交流センター講座について				上半期活動実績				事業費(A)	3,266千円	272千円	600千円	0千円
事業の目的		市民が自己を高めるため、生涯にわたり社会のあらゆる領域で自発的、自主的に学習活動が行えるようにするため。		成果	生涯学習を振興するための今後の運営について、地域交流センター講座以外にも意見をいただいて、施策の総合的な推進ができた。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要		生涯学習の振興に関する施策を総合的に進めるために調査審議する審議会を開催する。		課題	生涯学習審議会委員の意見をふまえて、事業の進捗等についての見直しを行う。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	内訳	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
		H29環境関連性		評価	有効性	中:適切な成果が得られている	評価	有効性	-	評価	有効性	人件費(B)	3,129千円	2,984千円	1,958千円		
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		効率性	-	正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.26人
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		総合評価	-	時間外勤務	58.45時間	20.00時間	20.00時間	
												臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	6,395千円	3,256千円	2,558千円		
												H30年度当初積算根拠	-				
												H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	3,397千円	398千円	734千円	0千円
	総人件費	7,190千円	6,990千円	4,649千円	
	総事業コスト	10,587千円	7,388千円	5,383千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	02 つくば人間学講座				指標名	講座参加者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	講座の参加者数				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績		832人	477人	315人		
総合戦略	-	-	-	-		H28年度				H29年度				その他の指標	-					
改善目標					改善目標	市民ニーズを把握するためのアンケートを実施し、講師の選定等に反映していく。				改善目標	市民ニーズを把握するため、アンケートを実施し、より内容や講師選定等の改善をする。									
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画				事業計画	開催回数4回予定 7月：消費税とマイナス金利 9月：子どもの貧困 12月：携帯依存 2月：古典文学				事業計画	開催回数4回予定 7月：健康 9月：芸術文化 12月：人権問題 2月：経済学				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
根拠法令等	-				活動実績	経済学に関する講座(7/9) 参加人数 47人 貧困に関する講座(9/3) 参加人数75人 シニア世代に関する講座(12/10) 参加人数 83人 芸術文化に関する講座(2/4) 参加人数 110人 ・受講者総数 315人				上半期活動実績	-				事業費(A)	131千円	126千円	134千円	0千円	
事業分類	B 任意的事業(小規模)				成果	企画立案や講師選定などに市民が主体的に取り組むことができ、アンケート結果で今後の課題等を抽出できた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ				課題	市民のニーズを把握し、様々な社会問題をテーマとして講座を開催し、受講者数の増加を図ること。				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	事業を通じて文化創造の一助及び生涯学習の推進を図るため。				評価	有効性 中：適切な成果が得られている				評価	有効性 -				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	実行委員を設置し、講座の内容・講師選定など企画全般を行い、行政は会場の準備や広報などを行う。				評価	効率性 中：適切な費用対効果が得られている				評価	効率性 -				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
					評価	総合評価 B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				評価	総合評価 -				一般財源	131千円	126千円	134千円	0千円	
															人件費(B)	1,683千円	1,661千円	1,152千円		
															正職員	0.22人	0.22人	0.15人		
															内職	17.75時間	18.25時間	20.00時間		
															臨時職員等	無	無	無		
															事業コスト(A+B)	1,814千円	1,787千円	1,286千円		
															H30年度当初積算根拠	-				
															H30年度の方向性	-	理由	-		
ISO 14001	H28環境関連性	-																		
	H29環境関連性	-																		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	3,397千円	398千円	734千円	0千円
	総人件費	7,190千円	6,990千円	4,649千円	
	総事業コスト	10,587千円	7,388千円	5,383千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	03 出前講座事業				指標名	出前講座参加者数				指標種別	成果指標			指標の概要	出前講座の参加者数							
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
総合戦略	-	-	-	-	実績	2175人	2713人	3898人						その他の指標	-							
個別計画	-	-	-	-	H28年度				H29年度													
根拠法令等	-				改善目標	市民ニーズを把握するためのアンケートを実施し、メニューの充実を図る。				改善目標	市民ニーズを把握するためのアンケートを実施し、メニューの充実を図る。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初			
						事業計画	・チラシ及び出前講座のメニュー一覧を作成し、周知を図る。 ・メニュー内容の充実を図るため、全庁的に取り組む。				事業計画	・チラシ及び出前講座のメニュー一覧を作成し、周知を図る。 ・メニュー内容の充実を図るため、全庁的に取り組む。				事業費(A)	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分類	B 任意的事業(小規模)				活動実績		認知症サポーター養成講座 30回 家族ではじめる防災対策 20回 どうやって支える高齢者の生活と介護 6回 その他 実施回数 105回 参加人数 3898人					上半期活動実績	-				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
						執行体制	職員のみ				成果		市民の学習会や集会等に市職員が講師として出向き、市の業務や施策について説明したことにより、市政に対して関心を深めることが出来た。					上半期成果	-			
事業の目的	市民が主催する学習会等に市の職員等が講師として出向き、市政に関する講座を行うことにより、生涯学習の推進を図ると共に、市民の市政に関する理解を深め、もってまちづくりへの参加の促進に寄与するため。				課題							申請が認知症サポーター養成講座や高齢者トラブル講座に集中しているため、講座メニューの充実を図る必要がある。				課題	-				地方債	0千円
						事業の概要	市民の学習会や集会等に市職員が講師として出向き、市の業務や施策について説明するなどして、市政に関する講座等を行う。				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円
有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-								一般財源	0千円	0千円		0千円	0千円					
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		人件費(B)	1,635千円	1,612千円	1,099千円	H30年度当初積算根拠	-				
	H29環境関連性	-	-	-		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		正職員	従事割合	0.22人	0.22人					0.15人	
													臨時職員等	無	無	無	H30年度の方向性	-	理由	-		
													事業コスト(A+B)	1,635千円	1,612千円	1,099千円						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	3,397千円	398千円	734千円	0千円
	総人件費	7,190千円	6,990千円	4,649千円	
	総事業コスト	10,587千円	7,388千円	5,383千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	04 生涯学習指導者情報提供事業	指標名	情報提供数	指標種別	活動結果指標	指標の概要	登録指導者の情報提供数
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度 50件 H27年度 60件 H28年度 60件 H29年度 60件 H30年度 60件 H31年度 60件 H32年度 60件				
総合戦略	- - - -	実績	H26年度 47件 H27年度 62件 H28年度 84件				
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画	改善目標	H28年度 登録した指導者の活用に努めるため、主催事業で積極的に活用していく。	H29年度 登録した指導者の整理を行い、主催事業で積極的に活用していく。			
根拠法令等	-	事業計画	・市の講座、家庭教育学級の講座等で活用できるよう生涯学習指導者の情報を提供する。 ・指導者情報をホームページに掲載する。 ・チラシの作成配布 ・市民の問い合わせに応じて、講師の紹介をする。	・市の講座、家庭教育学級の講座等で活用できるよう生涯学習指導者の情報を提供する。 ・指導者情報をホームページに掲載する。 ・チラシの作成配布 ・市民の問い合わせに応じて、講師の紹介をする。			
事業分類	B 任意的事業(小規模)	活動実績	情報提供数 80件(うち25件開催) 登録者総数 291名(うち新規84名)	上半期活動実績			
執行体制	職員のみ	成果	市民の学びたい・教えたいという意欲に応えることが出来た。	上半期成果			
事業の目的	市民の生涯学習意欲を満たすため。また地域全体が持つ能力を活かした学習機会の充実を図るため。	課題	引き続き、情報の提供依頼件数の増加を図るための方策を考える。また、登録した指導者の活用に努めていく。	課題			
事業の概要	生涯学習指導者情報の登録を行い、市民の要望に応じた生涯学習指導者情報の提供をする。	事業の進捗状況	達成 改善目標の進捗状況 達成	事業の進捗状況	- 改善目標の進捗状況 -		
ISO 14001	H28環境関連性 - H29環境関連性 -	評価	有効性 中:適切な成果が得られている 効率性 中:適切な費用対効果が得られている 総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	評価	有効性 - 効率性 - 総合評価 -		
		事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		事業費(A)		0千円	0千円	0千円	0千円
		国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円
		県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円
		地方債		0千円	0千円	0千円	0千円
		その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円
		一般財源		0千円	0千円	0千円	0千円
		人件費(B)		743千円	733千円	440千円	
		正職員		0.10人	0.10人	0.06人	
		従事割合 時間外勤務		0.00時間	0.00時間	0.00時間	
		臨時職員等		無	無	無	
		事業コスト(A+B)		743千円	733千円	440千円	
		H30年度当初積算根拠					
		H30年度当初積算根拠					
		理由					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	84,254千円	83,113千円	82,803千円	0千円
	総人件費	4,861千円	4,737千円	4,706千円	
	総事業コスト	89,115千円	87,850千円	87,509千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

事務事業名	01	ふれあいプラザ指定管理者事業	指標名	施設利用人数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくば市ふれあいプラザ利用者数						
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度				
					75,000人	75,000人	75,000人	75,000人	75,000人			75,000人	75,000人				
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-			
					実績				実績								
					75,098人	70,195人	67,847人										
個別計画	-	-	-	-	改善目標				改善目標				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
					自主事業や周知活動の強化により新たな利用者を獲得する。				自主事業や周知活動の強化により新たな利用者を獲得する。								
根拠法令等	つくば市ふれあいプラザ条例				事業計画				事業計画				事業費(A)	59,398千円	57,254千円	57,340千円	0千円
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績				活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	指定管理者				成果				成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。				課題				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の運営を指定管理者に委託し、適切な維持管理、施設の特徴を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。				事業の進捗状況				事業の進捗状況				その他特財	0千円	41千円	41千円	0千円
					評価				評価				一般財源	59,398千円	57,213千円	57,299千円	0千円
					H28環境関連性				H28環境関連性				人件費(B)	3,340千円	3,243千円	3,224千円	
					H29環境関連性				H29環境関連性				正職員	0.44人	0.44人	0.44人	
					ISO 14001				ISO 14001				時間外勤務	26.50時間	7.00時間	0.00時間	
					有効性				有効性				臨時職員等	無	無	無	
					効率性				効率性				事業コスト(A+B)	62,738千円	60,497千円	60,564千円	
					総合評価				総合評価				H30年度当初積算根拠	-	-	-	
					B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				H30年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	84,254千円	83,113千円	82,803千円	0千円
	総人件費	4,861千円	4,737千円	4,706千円	
	総事業コスト	89,115千円	87,850千円	87,509千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

事務事業名		02 市民研修センター指定管理者事業		指標名	施設利用人数				指標種別	成果指標		指標の概要	つくば市市民研修センター利用者数				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
総合戦略		- - - -		実績	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	その他の指標	-				
個別計画		-		H28年度				H29年度									
根拠法令等		つくば市市民研修センター-条例		改善目標	自主事業や周知活動の強化により新たな利用者を獲得する。				改善目標	周知活動を強化し新たな利用者を獲得するとともに、施設修繕を計画的に実施する。							
事業分類		F 施設等維持管理事業		事業計画	様々な催事の実施 4月 春のさくらまつり 8月 夏休み子どもイベント 10月 利用者合同発表会 その他、通年で各種講座を実施				事業計画	協定期間の終了に伴う、今後5年間の指定管理者の募集・選定・協定作業を行う。 様々な催事の実施 4月 春のさくらまつり 8月 夏休み子どもイベント 10月 利用者合同発表会 その他、通年で各種講座を実施							
執行体制		指定管理者		活動実績	4月 さくらまつり 5月 宝篋山ハイキング倶楽部 7月 夏休み子どもイベント「電気パンを作ろう！」 8月 コワナツ～怖い話を聞く夏の夕べ～ 10月 利用団体合同発表会 その他、健康講座、子育て講座、高齢者講座、趣味講座、伝承継承講座など各種講座を開催。				上半期活動実績	-							
事業の目的		市民及び市内の企業に勤務する者に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び文化の向上に寄与するため。		成果	自主事業により参加者の施設利用はあったものの、大幅な利用者の増加には至らなかった。また給湯設備故障による、浴室の利用休止期間があったため、施設利用人数は減少している。				上半期成果	-							
事業の概要		利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の運営を指定管理者に委託し、適切な維持管理、施設の特徴を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。		課題	引き続き、周知活動の強化が必要。また施設の老朽化による修繕箇所が増加している。				課題	-							
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-				
ISO 14001		H29環境関連性		評価	有効性	中：適切な成果が得られている	評価	有効性	-	理由	-						
ISO 14001		H29環境関連性		評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている	評価	効率性	-	理由	-						
ISO 14001		H29環境関連性		総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				H30年度の方向性	-	理由	-

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	20,594千円	21,322千円	20,786千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	11千円	11千円	0千円
一般財源	20,594千円	21,311千円	20,775千円	0千円
人件費(B)	1,196千円	1,185千円	1,173千円	
正職員	従事割合	0.16人	0.16人	0.16人
内訳	時間外勤務	2.50時間	4.50時間	0.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	21,790千円	22,507千円	21,959千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	84,254千円	83,113千円	82,803千円	0千円
	総人件費	4,861千円	4,737千円	4,706千円	
	総事業コスト	89,115千円	87,850千円	87,509千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	社会教育係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

事務事業名		03 さくら民家園施設管理事業		指標名	来園者数				指標種別	成果指標		指標の概要	さくら民家園来園者数				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
実績		-			7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人						
総合戦略		- - - -		実績	7,394人	7,047人	6,847人					その他の指標	-				
個別計画		-		H28年度				H29年度									
改善目標		-		改善目標	リーフレットやつくば市HP等を通じて、施設や活用事例等を紹介することで、親しみやすく利用しやすい施設であることを周知する。				改善目標	中長期財政推計に盛り込んだ屋根修繕の実施計画を検討する。季節のイベントなどの情報を市HPやFacebook等で紹介することで、親しみやすく利用しやすい施設であることを周知する。							
事業計画		-		事業計画	施設を通して郷土理解等、学習の場や文化活動の場として広く活用してもらうため、通年での貸館及び見学受入れを行う。 4～5月 大学のゼミ実習 11月 文化祭会場 1～2月 小学校社会科見学				事業計画	通年での貸館及び見学受入れ 4～5月 大学のゼミ実習 11月 文化祭会場 1～2月 小学校社会科見学 その他、お茶会・お話しなどの文化活動の場の提供 屋根の修繕の実施計画の検討や老朽箇所の修繕。							
根拠法令等		中央公園さくら民家園管理規則		活動実績	6月 交流センター講座 11月 市民文化祭会場 1月 小学校社会科見学受入 3月 ひな祭り展示 ほか、縁側・襖などの老朽箇所の修繕や茅葺き屋根(ぐし)の防水工事を行った。				上半期活動実績	-							
事業分類		F 施設等維持管理事業		成果	市内小学校の社会科見学受入など、市内児童の郷土学習の場として活用された。また、お茶会・お話し・国際交流会など、市内外の人々の文化活動・文化交流の場として広く活用された。 また、イベント時のFacebook掲載や県生涯学習提供システムへの登録など、施設情報の発信に努めた。				上半期成果	-							
執行体制		一部委託		課題	利用者数の減少が見られるため、利用促進のためのさらなるPRが必要となる。 また、茅葺き屋根については、平成28年8月の台風による損傷が酷く、現在は臨時的な防水処置がされている状態。今後は、葺き替え等によりメンテナンスを行うため、中長期的な計画策定が必要となる。				課題	-							
事業の目的		さくら民家園の適正な維持管理を図ることにより、郷土に対する理解を深める環境・憩いの環境を提供し、伝統文化の継承に寄与するため。		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-				
事業の概要		日常的な清掃管理及び来場者への対応等の委託と団体利用者・催事等への貸出し、ひな人形の展示等を行う。		有効性		中：適切な成果が得られている		有効性		-							
ISO 14001		H28環境関連性		効率性		中：適切な費用対効果が得られている		効率性		-							
		H29環境関連性		総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-							
				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業実施コスト							
				事業費(A)		4,262千円	4,537千円	4,677千円	0千円	事業費(A)							
				国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	国庫支出金							
				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	県支出金							
				地方債		0千円	40千円	0千円	0千円	地方債							
				その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財							
				一般財源		4,262千円	4,497千円	4,677千円	0千円	一般財源							
				人件費(B)		325千円	309千円	309千円		人件費(B)							
				正職員		0.04人	0.04人	0.04人		正職員							
				時間外勤務		9.75時間	5.50時間	5.50時間		時間外勤務							
				臨時職員等		無	無	無		臨時職員等							
				事業コスト(A+B)		4,587千円	4,846千円	4,986千円		事業コスト(A+B)							
				H30年度当初積算根拠		-											
				H30年度の方向性		理由		-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,436千円	9,719千円	11,550千円	0千円
	総人件費	10,628千円	10,487千円	7,291千円	
	総事業コスト	19,064千円	20,206千円	18,841千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	01	青少年健全育成事業	指標名	あいさつ・声かけ運動実施数				指標種別	成果指標	指標の概要	市内各小中高校においてあいさつ・声かけ運動を実施した。						
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度				
実績	-	-	-	-	120回	120回	120回	120回	120回			120回	120回				
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	・青少年の健全育成に協力する店舗数(累計) H25年度目標値:355件,実績値:397件 H26年度目標値:360件,実績値:407件 H27年度目標値:450件,実績値:406件 H28年度目標値:450件,実績値:404件			
改善目標	つくば市子ども会育成連合会や、つくば市PTA連絡協議会等に、青少年相談員の活動が青少年の健全育成に必要であることを理解していただき参加を促していく。				改善目標				市子連や市P連との連携をとり、青少年相談員の活動について理解していただき、参加加入に取り組む。								
個別計画	-				-				-				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
根拠法令等	-				事業計画				事業計画				事業費(A)	4,226千円	4,220千円	5,717千円	0千円
事業分類	A 任意的事業				活動実績				活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ				成果				成果				県支出金	57千円	53千円	0千円	0千円
事業の目的	未来のつくば市を担う青少年が、健やかにたくましく成長できるようにするため。				課題				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	青少年相談員が中心となり、学校や青少年育成団体等と連携し、青少年の非行防止や青少年育成の各種事業を展開する。				事業の進捗状況				事業の進捗状況				その他特財	0千円	0千円	30千円	0千円
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	一般財源	4,169千円	4,167千円	5,687千円	0千円	
	H29環境関連性	-	-	-	有効性	中:適切な成果が得られている	有効性	-	有効性	-	人件費(B)	3,438千円	3,383千円	2,370千円			
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている	効率性	-	効率性	-	正職員	0.42人	0.42人	0.28人			
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	総合評価	-	総合評価	-	内職	119.00時間	115.45時間	120.00時間			
											臨時職員等	有	有	有			
											事業コスト(A+B)	7,664千円	7,603千円	8,087千円			
											H30年度当初積算根拠						
											H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,436千円	9,719千円	11,550千円	0千円
	総人件費	10,628千円	10,487千円	7,291千円	
	総事業コスト	19,064千円	20,206千円	18,841千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	02 青少年を育てるつくば市民の会補助	指標名	「家庭の日」図画・ポスターコンクール来場者数				指標種別	成果指標	指標の概要	「家庭の日」図画・ポスターコンクール来場者数						
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
			450人	400人	400人	400人	400人	400人	400人							
総合戦略	- - - -	実績	322人	384人	260人					その他の指標 ・あいさつ・声かけ運動実施回数 H25年度目標値:110回,実績値:100回 H26年度目標値:120回,実績値:100回 H27年度目標値:120回,実績値:100回 H28年度目標値:120回,実績値:100回						
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画	改善目標	H28年度 つくば市子ども会育成連合会や、つくば市PTA連絡協議会等の事業に協力する中で、両会の会員を取り込んでいく。				改善目標	H29年度 つくば市子ども会育成連合会や、つくば市PTA連絡協議会等の事業に協力する中で、両会の会員を取り込んでいく。				事業実施コスト				
根拠法令等	青少年を育てるつくば市民の会補助金交付要綱	事業計画	・「家庭の日」図画・ポスターコンクール事業:中央公園市民ギャラリー- ・「子どもを守る110番の家」推進事業 ・あいさつ・声かけ運動推進事業 ・支部事業(親子交流事業・講演会)				事業計画	・「家庭の日」図画・ポスターコンクール事業:中央公園市民ギャラリー- 11月中旬 ・「子どもを守る110番の家」推進事業 ・あいさつ・声かけ運動推進事業 ・支部事業(親子交流事業・講演会)				事業費(A)	1,654千円	2,015千円	2,015千円	0千円
事業分類	E 補助金・負担金事業	活動実績	11月16日～11月20日「家庭の日」図画・ポスターコンクール事業:中央公園市民ギャラリー- 通年「子どもを守る110番の家」推進事業 通年 あいさつ・声かけ運動推進事業 ・支部事業(親子交流事業・講演会)				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	補助金(直接)	成果	青少年育成関係諸団体や地域・学校と協力しながら事業を展開することにより、地域社会で青少年を健全に育成するという機運を高めることができた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	市民総ぐるみ運動による青少年育成団体を支援し、青少年健全育成の推進を図るため。	課題	役員の後継者不足				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	青少年の健全育成事業を展開する団体に対し補助金を交付する。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001	H28環境関連性 - H29環境関連性 -	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		有効性	-		一般財源	1,654千円	2,015千円	2,015千円	0千円			
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている		効率性	-		人件費(B)	1,663千円	1,640千円	1,131千円				
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-		正職員	0.22人	0.22人	0.15人				
									時間外勤務	10.25時間	10.50時間	12.00時間				
									臨時職員等	無	無	無				
									事業コスト(A+B)	3,317千円	3,655千円	3,146千円				
									H30年度当初積算根拠	-						
									H30年度の方向性	-	理由	-				





予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	8,436千円	9,719千円	11,550千円	0千円
	総人件費	10,628千円	10,487千円	7,291千円	
	総事業コスト	19,064千円	20,206千円	18,841千円	

部等名	課等名	係等名
市民部	文化芸術課	生涯学習推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	05 つくばサイエンスラボ事業	指標名	参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくばサイエンスラボ参加者数					
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度		H32年度					
		実績	160人	160人	160人	160人	160人	160人		160人					
総合戦略	-		151人	139人	177人					その他の指標	-				
個別計画	-	改善目標	H28年度 参加希望者が多く全コースとも抽選となっているため、コース数を増加し実施する。				H29年度 限られたコース内での改善，応募者の対応を検討する。								
根拠法令等	-	事業計画	日時等：夏休みの期間7月下旬～8月上旬に5コース（6日間 一泊二日のコース含む）を実施。 内容：実験教室，施設見学，自然体験など				6月 コース計画，チラシ作成 7月下旬～8月上旬 実施 内容 実験教室，施設見学，自然体験など				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	A 任意的事業	活動実績	Aコース・7月26日(火)：36人 Bコース・7月28日(木)：38人 Cコース・7月31日(日)：34人 Dコース・8月2日(火)：34人 Eコース・8月4日(木)～5日(金)（宿泊）：35人 ボランティア参加者：1名				上半期活動実績				事業費(A)	1,042千円	1,333千円	1,337千円	0千円
執行体制	職員のみ	成果	別のコースにも参加したいとの意見が多く，つくばの資源（自然や科学）に対する興味により深められた。				上半期成果				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の目的	市内外の子どもたちを対象に，つくば市の地域資源である科学や自然を活かした体験活動等を通して，つくば市の特徴である豊かな自然と最新の科学技術への興味・関心を向上させるため。	課題	4コースで実施しているが，申込数はどのコースでも多く，抽選になってしまうため，対応策を検討する。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要	つくば市内および足立区，千代田区，台東区，荒川区の小学4年～6年生を対象に施設見学・体験活動を実施する。	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-			その他特財	262千円	280千円	280千円	0千円	
	H29環境関連性		効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-			一般財源	780千円	1,053千円	1,057千円	0千円	
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-			人件費(B)	2,217千円	2,191千円	1,538千円		
										正職員	従事割合	0.28人	0.28人	0.19人	
										時間外勤務	51.25時間	52.25時間	55.00時間		
										臨時職員等	有	有	有		
										事業コスト(A+B)	3,259千円	3,524千円	2,875千円		
										H30年度当初積算根拠	-				
										H30年度の方向性	-	理由	-		